



よろこびを敷きつめる

株主・投資家のみなさまへ

第160期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

東リ株式会社

証券コード | 7971

株主・投資家のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第160期中間期(2023年4月1日～2023年9月30日)が終了いたしましたので、当社グループの事業活動についてご報告申し上げます。

代表取締役社長

永嶋元博



第160期中間期(2023年4月1日～2023年9月30日)の事業の概要

当中間期における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後、社会経済活動の正常化が進んだことに加え、所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調となりました。一方で、円安やウクライナ情勢の長期化等により、原油価格が再び上昇基調になるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、訪日外国人客数の回復による店舗・宿泊施設向け需要の持ち直しとともに、企業の設備投資が高水準で推移するものの、各種建築資材の高騰や労務費上昇による建設投資停滞の側面もあり、事業環境は予断を許さない状況となっております。

そのような中、当中間期におきましては、2022年9月に実施しました第3次販売価格改定の浸透を図るとともに、広化東リフロア新3号ラインの本格稼働やタイルカーペット用ナイロン原糸の内製化拡充、タイルカーペットリサイクルプラントを活用したリサイクル率向上など、安定供給体制の構築及び製造原価低減に注力し、収益力のさらなる向上に努めました。

商品開発におきましては、カーテン総合見本帳「fufu」の

発売を皮切りに、ビニル系床材分野では防滑性ビニル床シート「NS800」、カーペット分野ではグラフィックタイルカーペット「ソコイタリ サウンドスケア」、壁装材分野では「住まいの壁紙100選」など、各事業分野で新製品を発売いたしました。営業活動におきましては、4年ぶりとなる新製品発表会を各地で開催するなど、WEB上では伝わらない質感やモノづくりの背景を目で見て手で触ってリアルに感じていただく販促活動を重点的に展開いたしました。

グローバル事業におきましては、全体的にコロナ禍からの回復は見られるものの、中国国内の販売を担う東璃(上海)貿易有限公司ではゼロコロナ政策解除後の景気回復の遅れが事業活動に影響いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高46,448百万円(前年同期比 8.6%増)、営業利益1,304百万円(前年同期 営業損失68百万円)、経常利益1,447百万円(前年同期比 8,069.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益869百万円(前年同期 同四半期純損失67百万円)となりました。

中期経営計画「SHINKA Plus ONE」の推進

当社グループは、長期ビジョン〈TOLI VISION 2030〉の実現に向けた中期経営計画「SHINKA Plus ONE」を掲げ、経済的価値と社会的価値の両立を目指し、成長戦略を推進しております。

持続可能な社会の実現が当社グループの持続的な成長には欠かせません。地球環境の保全に向けては、滋賀東リ(株)にタイルカーペットリサイクルプラントを設置し、「TOLI完全循環型リサイクルシステム」によるタイルカーペットの水平リサイクルを推進しており、この度、同リサイクルプラントの増設にも着手いたしました。中長期的には中間処理施設等を整備し、タイルカーペットの廃棄に係る環境負荷の大幅な低減を図ります。

また、当社グループの持続的な発展には人的資本への投資も欠かせません。将来の中核的人材育成、高度な専門性、ダイバーシティといった視点で社員のキャリア形成とワークライフバランスを実現することが持続的な成長につながります。働きやすい職場環境づくりに向けて人事処遇制度を見直すとともに、様々な研修制度の充実や成長を促す目標管理、エキスパート人材の育成など、組織推進力の強化を図ってまいります。

今後の見通しについて

当中間期以降の経営環境は、エネルギーコスト並びに原材料価格の高騰が見込まれており、建築コストの上昇による建設投資の冷え込みが懸念されるなど、厳しい経営環境が続くと予想されます。そのような中、独自品や当期発売の新製品を中心とする販促活動に注力し、市場シェアの維持拡大を目指してまいります。

このような状況を踏まえ、2024年3月期の通期連結業績予想は、売上高101,000百万円(前期比 6.1%増)、営業利益4,000百万円(前期比 13.3%増)、経常利益4,050百万円

(前期比 11.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,750百万円(前期比 7.3%増)を見込んでおります。

スタンダード市場への移行について

2023年8月23日にお知らせしましたとおり、東京証券取引所(以下、東証)におけるスタンダード市場への選択申請を行い、スタンダード市場へと区分変更いたしました。遡ること2021年12月、当社は、東証の市場再編に対してプライム市場を選択し、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」のもと、流通株式数の向上やIR活動の強化に注力した結果、当第2四半期においては、プライム市場上場維持基準をすべて充足する状況となりました。

そのような中、2023年4月1日に施行された東証の規則改正に伴い、上場意義や市場区分について改めて協議を重ねました。東証が意図するプライム市場に求める企業像に対して、当社の事業規模やグローバル事業の進捗を見つめ直し、また、株価下落による上場廃止等、将来的に起こり得る株主のみなさまへの影響を勘案した結果、上場廃止等のリスクを回避し、株主のみなさまが安心して当社の株式を保有・売買できる環境を確保することが最も適正であると判断いたしました。

スタンダード市場へと市場区分変更をしましても、長期ビジョン及び中期経営計画「SHINKA Plus ONE」で掲げた重点目標指標の達成に向けて、持続的な企業価値向上に取り組んでまいります。また、PBR(株価純資産倍率)1.0倍以上の達成を目指し、プライム市場に求められるレベルのコーポレート・ガバナンス体制を構築するとともに、IR活動の強化並びに株主還元の充実に取り組んでまいります。

今後も企業価値向上に引き続き努めてまいりますので、株主・投資家のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NEWS CLIP

01

日本の美意識“粋”の極み、“底至り” 第5弾となる「ソコイタリ サウンドスケープ」発売

2004年の第1弾発売より、独自のデザインで高いご評価をいただいております。タイルカーペット「ソコイタリシリーズ」の第5弾となる「ソコイタリ サウンドスケープ」を発売しました。商品名の“ソコイタリ(底至り)”とは、江戸時代後期から使われている日本の美意識“粋”の極みを意味する表現です。意匠にこだわりを持ち、創意工夫をこらすことにより、一見地味で目立たないが、よく見ると行き届いているデザインをタイルカーペットで表現しており、一連の製品シリーズとして今年度のグッドデザイン賞を受賞しました。



**GOOD
DESIGN**

「ソコイタリ サウンドスケープ」は、“音の情景”をコンセプトとし、心地よい揺らぎの瀬の音から発想した「地模様」と、力強くうねる波の音を想起させる「勢波文(せいはいもん)」の2柄で構成しています。新たな意匠表現として、繊細なグラデーション表現や、ボリューム感と大胆な凹凸差によるカービング調のテクスチャーを実現しました。特徴的な印象でありながら主張しすぎないデザインが、高級感を演出します。



ボリューム感と大胆な凹凸差により上質な空間に



「地模様」と「勢波文」の貼り合わせで高級感を演出

NEWS CLIP 02

熊本地震からの創造的復興のシンボル
シンプルで力強いデザインが「大地の壮大さ」を演出

熊本地震からの創造的復興のシンボルである「阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビル」が開業しました。「世界でいちばん居心地のいい空港になる」をコンセプトに、搭乗直前まで快適な時間を過ごせる滞在型ゲートラウンジを設け、世界を往来するお客様にとって過ごしやすい環境を提供しています。

床材の選定は、上質感あふれる高いデザイン性と優れたコストパフォーマンスとの両立が大きなポイントとなりました。ランダムな木目素材の天井と吹抜けの大空間に負けない、シンプルかつ力強いデザインの床材として、阿蘇の「大地の壮大さ」を演出するビニル床タイル「ダイナミックストーン」、草原や大地の変化を演出するタイルカーペット「リンクスペース」が採用され、居心地のいい空間を演出しています。

阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビル

所在地：熊本県上益城郡益城町
設計・監理：日建設計・梓設計 設計監理共同企業体
商業エリア・環境デザイン：(株)ディ・ブレイン研究所
施工：大成建設(株)
材料(東リ製品)：ダイナミックストーン、リンクスペース 他
開業：2023年3月



提供：熊本国際空港株式会社

ビニル床タイル「ダイナミックストーン」



提供：熊本国際空港株式会社

ビニル床タイル「ダイナミックストーン」、タイルカーペット「リンクスペース」

社員とトップとのミーティングを開催 社員エンゲージメントの向上を目指して

社員エンゲージメントの向上に向けて、社員とトップ（社長）がミーティングやディスカッションを行う「TOPミーティング」を積極的に開催しています。中堅・若手社員が、日常業務における課題や意見などを社長に直接伝えるなど、相互にコミュニケーションを図る機会を創出し、風通しのよい職場づくりに留意しています。

TOPミーティングはディスカッション形式にて実施しており、これまでに「技術スタッフミーティング」や「若手営業職ミーティング」、「外国籍社員ミーティング」などを開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより、TOPミーティングの回数を徐々に増やし、今年度はこれまでに73人の社員が参画しました。

毎年開催している技術スタッフミーティングでは、技術力を高めるための施策やIT技術の活用などについて、社長とメンバー間で議論が交わされ、研究開発活動のスピードアップが図られています。また、「若手社員が働きやすい職場環境について」の議論が実際の改善につながった事例もあります。

今後もTOPミーティングを通じて社員エンゲージメントをさらに高め、組織全体の活性化につなげてまいります。



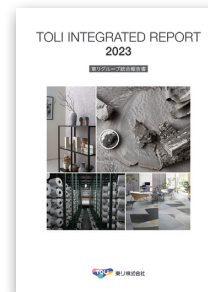
技術スタッフミーティング

NEWS CLIP

04

「東リグループ統合報告書2023」を発刊 ステークホルダーのみなさまへの情報発信を充実

2023年9月、当社グループとしては初めてとなる「東リグループ統合報告書2023」を発刊しました。当社グループが大切にしている理念やバリューをはじめ、価値創造の源泉から経営戦略に至るまで、財務・非財務の両面から当社グループの事業活動についてご報告しています。



統合報告書は
こちらから



NEWS CLIP

05

新任役員のご紹介



まつもと わたる
松本 渉（常勤監査役）

1980年 4月 当社 入社
2011年 6月 当社 取締役
経営企画部長 兼
総務人事部長
2012年 4月 当社 取締役
営業本部長
2015年 4月 リック株式会社
代表取締役社長
2022年 4月 同社 代表取締役会長
2023年 6月 常勤監査役（現任）

このたび常勤監査役を拝命いたしました松本渉でございます。

当社の取締役営業本部長を務めた後、グループの販売会社であるリック株式会社で8年間代表を務めてまいりました。会社はいかなる環境の中にあっても勝ち残っていく強さが必要です。監査役就任にあたり、将来に向けてのより強靱な会社の仕組みづくりに貢献していく所存です。

みなさまどうぞよろしくお願い申し上げます。

TOP MESSAGE

TOPICS

業績ハイライト

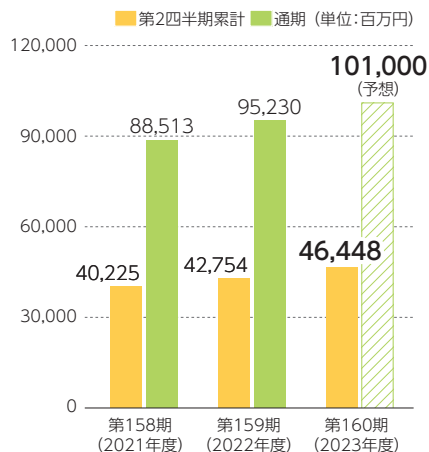
セグメント別の営業状況

連結財務諸表

会社情報

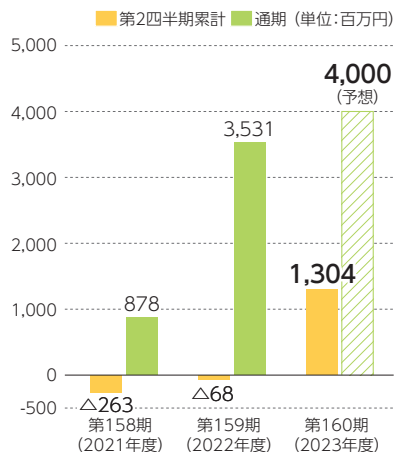
売上高

46,448百万円



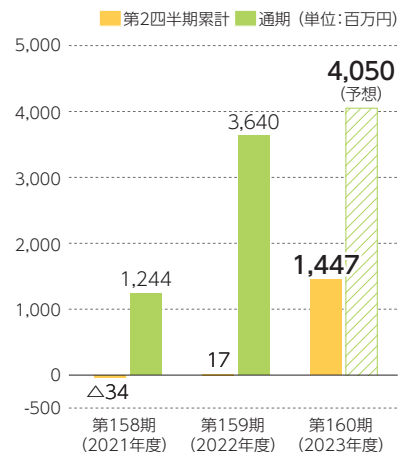
営業利益

1,304百万円



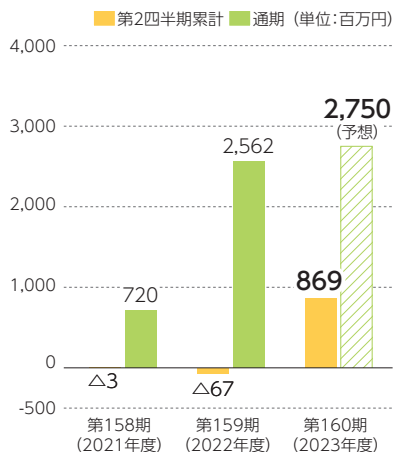
経常利益

1,447百万円



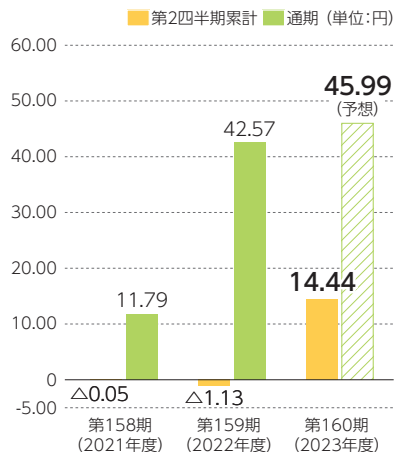
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

869百万円



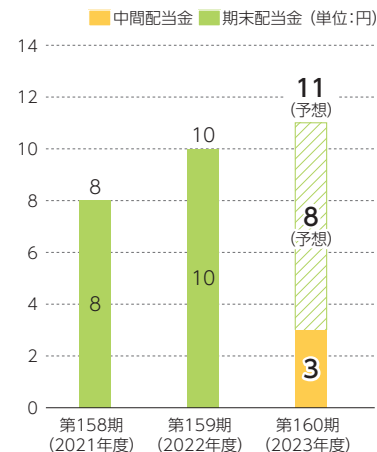
1株当たり四半期(当期)純利益

14.44円



1株当たり年間配当金

11円(予想)



■プロダクト事業

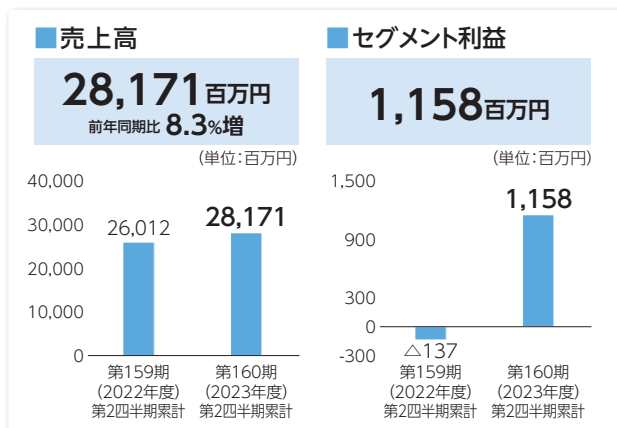
販売価格改定の浸透が進んだことや対面での販促活動強化により、売上高を伸ばしました。

ビニル系床材では、8月に発売した防滑性ビニル床シート「NS800」をはじめとするスペック活動を強化し、トイレ用高耐久ビニル床シート「消臭NSTワレNW」やワックスメンテナンスが長期間不要なビニル床タイル「イーグリンNW-EX」等の高機能商品の採用も進みました。

カーペットでは、「TOLI完全循環型リサイクルシステム」の推進役を担う「GA-3600 サスティバック」が環境ニーズの高まりを背景に採用が増加し、また、グラフィックタイルカーペット「GXシリーズ」が好調に推移するなど、売上高は前年を上回る結果となりました。

壁装材では、当社独自商品の不燃化粧仕上げ材「リアルデコ」が好調に推移したことに加え、壁装材全般で販売価格改定が浸透したことにより、汎用品の販売数量は減少したものの売上高は微増となりました。

カーテンでは、オーダーカーテン需要が弱含みで推移したものの、「えらべるって、楽しい!」をコンセプトに、6月に発売したデザインと機能性にこだわった総合見本帳「fufu!」の販促活動に注力したことにより、売上高は前年を上回りました。



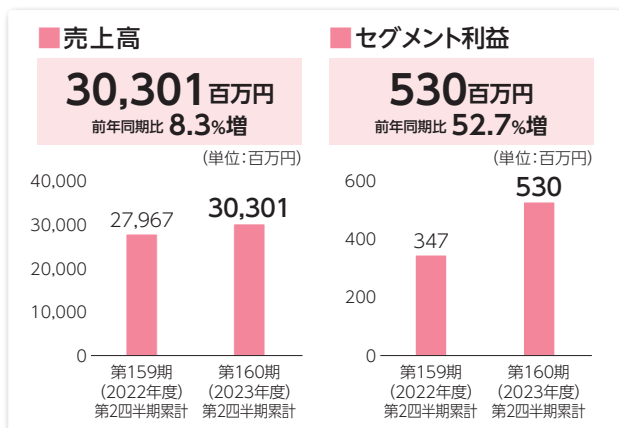
■インテリア卸及び工事業

各種インテリア関連商材の仕入れコストの上昇が続く中、販売価格への転嫁を進めつつ、お客様のニーズに合った商品提案に注力いたしました。工事業では、グループの施工力を活かして、リニューアル工事を含めた受注獲得に注力したことで、売上高は前年を大きく上回りました。一方で、東璃(上海)貿易有限公司では、ゼロコロナ政策解除による事業環境の改善が期待されましたが、不動産業界の混乱が続くなど、中国経済の成長鈍化が影響し、同社の第2四半期(2023年1月～6月)の売上高は前年を下回る結果となりました。

※プロダクト事業とは、主に当社及び関係会社がビニル系床材やカーペットなどのインテリア製品を製造・販売する事業です。

※インテリア卸及び工事業とは、主に関係会社がインテリア関連商材の仕入販売及び内装工事を行う事業です。

(注) セグメントの業績は、セグメント間の取引を含めて表示しております。



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第159期 (2023年 3月31日現在)	第160期 第2四半期 (2023年 9月30日現在)	増 減
資産の部			
流動資産	50,677	47,676	△ 3,001
固定資産	34,113	36,078	1,965
有形固定資産	23,042	23,751	708
無形固定資産	811	818	6
投資その他の資産	10,258	11,509	1,250
① 資産合計	84,791	83,754	△ 1,036
負債の部			
流動負債	31,726	28,498	△ 3,228
固定負債	12,169	12,905	735
負債合計	43,896	41,403	△ 2,493
純資産の部			
株主資本	38,092	38,359	267
その他の包括利益累計額	2,521	3,696	1,175
非支配株主持分	281	295	14
純資産合計	40,894	42,351	1,456
負債純資産合計	84,791	83,754	△ 1,036

POINT

① 資産合計

流動資産は、前年度の第4四半期に増加した売上に係る債権の回収が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べ3,001百万円減少し、47,676百万円となりました。

固定資産は、保有する投資有価証券の株価上昇等により、投資その他の資産が増加しました。その結果、前連結会計年度末に比べ1,965百万円増加し、36,078百万円となりました。

これらの結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,036百万円減少し、83,754百万円となりました。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第159期 第2四半期 (2022年4月1日～ 2022年9月30日)	第160期 第2四半期 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)	増 減
② 売上高	42,754	46,448	3,693
売上原価	31,112	32,960	1,847
売上総利益	11,641	13,488	1,846
販売費及び一般管理費	11,710	12,183	473
③ 営業利益(損失:△)	△ 68	1,304	1,372
営業外収益	297	296	△ 1
営業外費用	211	153	△ 57
経常利益	17	1,447	1,429
特別利益	15	5	△ 10
特別損失	10	35	25
税金等調整前四半期純利益	23	1,417	1,394
法人税等合計	98	529	431
四半期純利益(純損失:△)	△ 74	888	962
非支配株主に帰属する 四半期純利益(純損失:△)	△ 6	19	25
親会社株主に帰属する 四半期純利益(純損失:△)	△ 67	869	936

② 売上高

販売価格改定の浸透が進んだことに加え、対面での販促活動強化により、売上高は46,448百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

③ 営業利益(損失:△)

主要原材料価格が高止まりしている中で、タイルカーペット用ナイロン原糸の内製拡充、タイルカーペットリサイクルプラントを活用したリサイクル率向上などによる製造原価低減に努め、営業利益は1,304百万円となりました。

会社概要

創立 1919年(大正8年)12月1日
資本金 6,855百万円
従業員数 898名
主な事業内容 ビニル床タイル、ビニル床シート、カーペット、カーテン、壁装材、接着剤等の製造販売
本社 兵庫県伊丹市東有岡五丁目125番地
東京本部 東京都港区東新橋二丁目10番4号
工場 伊丹、厚木
ショールーム 札幌、東京、名古屋、大阪、岡山、高松、福岡
営業所 札幌、仙台、盛岡、郡山、新潟、長野、東京、大宮、千葉、水戸、八王子、横浜、名古屋、静岡、金沢、大阪、京都、神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、北九州、鹿児島、沖縄、シンガポール

役員

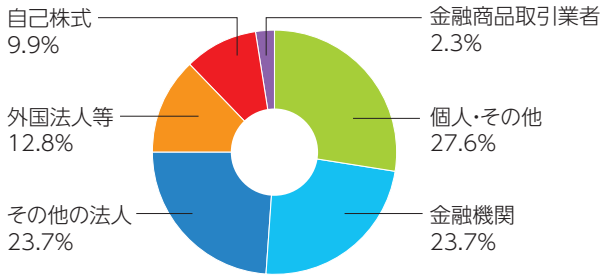
〈取締役・監査役〉 代表取締役社長 永嶋元博
取締役専務執行役員 天野宏文
取締役常務執行役員 橋本昌幸
取締役 横田絵理子
取締役 関根近秀
取締役 藤井秀延
常勤監査役 鈴木潤
常勤監査役 松本渉
監査役 森川拓
監査役 渡沼照夫
(注) 1. 横田絵理、関根近子および藤井秀延の3氏は、社外取締役であります。
2. 森川拓および渡沼照夫の両氏は、社外監査役であります。

〈執行役員〉 常務執行役員 中野洋二
常務執行役員 荒木陽三
常務執行役員 立花敦司
執行役員 田淵俊之
執行役員 工藤務
執行役員 長森正知
執行役員 園田信子
執行役員 児玉剛治
執行役員 加藤晃朗
執行役員 竹川政克
執行役員 永原孝史

株式の状況

発行可能株式総数 141,603,000株
発行済株式の総数 66,829,249株
株主数 10,364名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	3,641	6.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,425	5.6%
株式会社トクヤマ	2,780	4.6%
東親会持株会	2,090	3.4%
株式会社三菱UFJ銀行	1,777	2.9%
三信株式会社	1,730	2.8%
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.4%
東リ社員持株会	1,285	2.1%
株式会社池田泉州銀行	1,220	2.0%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,019	1.6%

(注) 持株比率は、自己株式(6,643千株)を控除して計算しております。

株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
株主名簿管理人
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
(お問い合わせ先) 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
0120-094-777 (通話料無料)
https://www.tr.mufg.jp/daikou/

■公告の方法

電子公告の方法により、東リホームページ(<https://www.toli.co.jp>)に掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

- (ご注意)
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【お知らせ】

株式関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のウェブサイトで24時間承っております。
○ホームページアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>



東リ株式会社

<https://www.toli.co.jp> 当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。

本誌に関する 注意事項	本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、様々な要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。
----------------	---

表紙は、2023年10月に新発売したタイルカーペット「ソコイタリ サウンドスケープ」です。

